

助成事業実施報告書

団体名 児童自立援助ホーム 新冠こたにがわ学園
代表者・役職名 氏名 学園長 黒川 正紀



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

学園生活環境改善備品整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成16年7月に子育て教育支援を行うNPO法人を設立し、同年9月にこたにがわ学園を開設しました。そして、平成20年10月届出をして児童自立援助ホーム(定員6名)として再出発しました。その後、平成22年10月北海道新冠町の閉校となった小学校を再利用し、新冠こたにがわ学園開設しました。平成26年5月に定員増のため、こたにがわ学園園舎を新築し松戸市小金原に移転しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

一昨年、松戸の施設を、定員増をして移転しましたが、その費用は銀行融資と理事の個人負担で乗り切りました。国や県の助成事業が全く行われていないためです。また、北海道の閉校した小学校を購入し、当学園を理事の個人負担で開設した経緯もあり、当法人役員の個人負担も限界を迎えております。現在牧場や農家で働く子どもが多いため、玄関は、泥やし尿等で汚れたり、廊下のワックスもはがれ黒ずんだりしています。気持ちよく過ごせる環境を整えるために必要な備品や消耗の激しい電気機器を購入する予算がないため申請させていただきました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

100畳程度あると思われる広い玄関は、牧場や農家で働いてきた子ども達の泥で汚れ、長年の積み重ねでタイルが黒ずみ、高圧洗浄機でないとその汚れが落ちません。そして、合計100m程度になる廊下は、表面のワックスが所々剥がれたり、黒ずんだりしているため全部ワックスをはがし、新たにワックスをかけない限りきれいになりません。また、5月～9月、広大な敷地(8000坪以上)を職員や子ども達が刈払機を使って除草しますが、終了するまで10日～2週間ほどかかり、少しでもその負担を少なくするためには、農業用の除草剤(環境への影響がかなり少ない物)をまくため、噴霧器が必要です。以上の内容に加え、洗濯機や新たにストーブが必要となり、生活環境を改善する必要があります。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

高圧洗浄機やポリッシャーを導入したことにより、手軽に清掃することができるようになりました。そのため、玄関や長い廊下もきれいに保つことができるようになりました。また、8000坪以上ある広大な敷地の除草作業は、刈払機を使用する部分と噴霧器を使って除草剤をまく部分に分けて作業をしたため、大変能率良く進めることができました。また、新たにストーブを導入したことにより、今まで使用していなかった部屋を活用することも可能となり、活動の幅も広がりました。このように、子ども達の生活環境を改善できましたのも、貴団体のお力添えと感謝しております。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回のプロジェクトの実施にあたって、課題となることは特にありませんでした。お力添えをいただきまして、大変感謝しております。今後は、働きながら専門学校に通う子どもの学費負担を軽減する助成等があると大変うれしく思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし